



ながさか なおと
豊橋市長 長坂 尚登

路等と一体となって広域道路ネットワークを形成します。本市には、自動車の輸入で全国トップの三河港や県境付近の産業集積地を有し、全国屈指の農業地帯でもあることから、特に物流の迅速性・定時性の確保が課題となっています。浜松湖西豊橋道路の整備により、アクセスが向上し、物流機能の強化や地域産業の更なる発展を期待しています。また、広域交流の促進、災害時の救急救命活動や救援物資輸送の強化、さらに、生活道路や通学路の安全確保など、本市のまちづくりにも寄与します。

一方、整備による自然環境や景観への影響及びIC周辺の渋滞を心配する声があります。これに対応するため、都市計画の説明会に加え、地元住民からより多くの意見を聞くため、相談窓口の設置や渋滞対策検討委員会を立ち上げるなど、丁寧な対応に努めています。現在、都市計画及び環境影響評価の手続きを進め、今後も早期事業化を目指し、引き続き国や県と連携して進めてまいります。



浜松湖西豊橋道路位置図

4. 多目的屋内施設及び

豊橋公園東側エリアの整備

豊橋駅から北東約1.8kmに位置する豊橋公園は、歴史ある吉田城址を戦後に整備した豊橋市民のシンボリックな公園です。この豊橋公園の東側エリアに、延べ面積約21,000㎡の多目的屋内施設を整備しています。スポーツ施設としては、全国でも珍しいBTコンセッション方式*によるPFI事業です。多目的屋内施設の整備後、事業者が公共施設運営権を設定し、30年間の運営を含む契約となっています。また、公園基盤施設との一体的な整備により、災害時の活動拠点として防災機能の強化を図るとともに、多世代が集う憩いの場として、誰もが安心して利用でき、にぎわいの創出につながるよう整備を丁寧に進めてまいります。



豊橋公園東側エリア 整備イメージ

5. おわりに

豊橋市は令和8年8月1日に市制施行120周年を迎えます。これからも「豊橋に生まれてよかった」、「住み続けたい」、「外に出てもまた戻ってきたい」と感じてもらえるインフラ整備とまちづくりを進めてまいります。

<用語解説>

※BTコンセッション方式：民間が施設を建設（Build）した後、所有権を公共に移し（Transfer）、民間が長期にわたって施設を運営するという仕組み